

White noise を用いることにより, receptive field を求める方法により, soma に microelectrode を刺入した場合に receptive field の差がウグイとカメであることが判明したことをうかがいましたが, axon に刺入した場合も原理的に可能でしょうか。

応答 (第一生理) 橋本 葉子

一次元時空間受容野は割に簡単に求めることができますが, axon の受容野は大きいので, 二次元時空間受容野はこの写真法ではぼやけてしまつて鮮明な像を得ることは難しい。

3. Wilson 病患者に対するリハビリテーションアプローチの1経験

(中央リハビリ) ○木村 義徳・北目 茂・
柳 広光・山本 和弘

はじめに: 近年, 脊髄小脳変性症, 重症筋無力症, パーキンソン氏病などの神経難病に対する医学的治療テクノロジーの発展は目ざましいものがあるが, これらの疾患がいずれも重要な機能障害を合併し, 日常生活にハンディキャップを負っていることも事実である。今回, 我々が経験した Wilson 病もその病像の多くが学齢期にあることを考えれば, その教育的, 社会的問題点は重要であり, 単にメディカル・リハビリテーションの一環としての関連のみならず, 教育的, 社会的なニーズをも考慮して治療にあたらなければならない。

症例概要: 23歳女性。昭和55年2月より歩行障害が出現。昭和56年2月右手の硬直, 振戦, 発語障害が出現。歩行障害増悪のため階段昇降困難となり, 同3月Wilson 病と診断され, 同5月本学神経内科入院, 同9月当部受診し加療をうけ, 昭和57年2月経過良好にて退院。以後外来フォローとなる。

リハビリテーション・アプローチ: 症例は体幹のジストニー, 四肢アテトーゼ及びミオクローヌス様の不随意運動のため共同運動不能の状態, ADL は自力坐位がようやく可能で, Self-Care は全介助であつた。治療は変形ポストン型体幹器具により頸部体幹の正常アライメントの獲得を計り, 不随意運動により阻害された異常運動パターンは, 固有受容性神経筋促通法により正常運動パターンの獲得を計つた。上記の結果, 自力にて家庭内適応にまで, 機能的レベルを獲得できた。

おわりに: もちろん D-ペニシラミンによる薬効は除外できえないが, 二次的機能障害は適切なりハビリテーション・サーヴィスにより改善できうることも事実である。今後の社会的リハビリテーションにも問題は残す

が, 持続して外来フォローをしていきたい。

4. 新生児の脂質とくにHDL-コレステロールについて

(成人医学センター)

○中井 呈子・松野 堅・赤松 順子・
山口いづみ・堀江 俊伸・渋谷 実

(第2病院産婦人科) 井口登美子

近年, HDL-コレステロールに関する報告は数多くみられるが, 新生児の HDL-コレステロールに関する文献は少ない。そこで今回我々は新生児110例の脂質とくに HDL-コレステロールを測定し検討を加えたので報告する。

対象ならびに方法: 第2病院産婦人科で出生した男児59例, 女児51例計110例の新生児について, HDL-コレステロール, 総コレステロール等の血清脂質を測定した。同時に分娩時の母親の血清脂質も測定した。HDL の分類はヘパリン-マンガン法を用い, コレステロールの測定は酵素法を用いた。

なお, 比較対照として137例の高校生ならびに20~80歳の健康成人男性649例, 健康成人女性362例の脂質を用いた。

結果: (1) HDL-コレステロールは男児で 33.7 ± 9.6 mg/dl, 女児で 40.0 ± 10.9 mg/dl であり, 女児で有意に高値を示した。総コレステロール, 中性脂肪についても同様に女児で有意に高値を示した ($p < 0.005$)。 (2) HDL-コレステロール, 総コレステロールおよび中性脂肪は母親のそれらと相関は認められなかつた。 (3) 新生児生下時体重と HDL-コレステロールの相関は認められなかつた。 (4) 新生児の HDL-コレステロールは高校生ならびに成人と比較し, 有意に低値を示した。 (5) 新生児の総コレステロールは健康成人の1/2以下で動脈硬化指数も同様に約1/2で著明な低値を示した。

考察: 新生児の HDL-コレステロール, 総コレステロールは高校生, 健康成人と比較し著明に低値を示していたが, それらが授乳とともに急激に増加するのか漸増するものなのか興味を持たれた。

5. 培養甲状腺細胞を用いた甲状腺刺激物質の研究 (内科2)

○磯崎 収・対馬 敏夫・鎮目 和夫

目的: TSH をはじめとする各種甲状腺刺激物質の検定系として最近, 甲状腺単層培養系が用いられている。しかし, 甲状腺細胞は濾胞という立体構造を形成し, 個々の細胞は極性を有している。今回, 我々は培養甲状腺